

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1271800326		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート東金(1階)		
所在地	千葉県東金市堀上944		
自己評価作成日	令和4年2月28日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	令和4年3月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>○新型コロナウイルス感染流行で外出自粛が続いています。施設内で外食気分を味わっていただきたく中食を行っています 幕の内弁当 すき家のスキミックス ビックボーイの手ごねハンバーグ弁当 かつ丼 とんかつ弁当など ○食事は旬の食材を取り入れた献立作りを行っています。 ○毎月、テーマを設け職員研修を行い、スキルアップを目指しています。 ○季節の行事を行っています。端午の節句、七夕祭り、土用の丑の日、納涼祭、運動会、文化祭、クリスマス、新年会、七草がゆ、鏡開き、節分、ひなまつり</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>コロナ禍であってもホーム内で楽しく快適に過ごせるように、ホーム内での季節行事に力を入れて、季節感が感じられるように工夫しています。また近隣のファミリーレストラン等のデリバリー食も積極的に活用して、ホーム内で外食気分が味わえるような取り組みも力を入れています。コロナ禍以前は、積極的に外に出かけ、県内外の観光名所などに出かけていましたが、コロナ禍で外出が制限される中でも、ホーム内で楽しめることを積極的に取り入れています。また、DVDを活用した体操や毎週日曜日には近隣のごみ拾いを兼ねて散歩に出かけるなど、様々な工夫を図り利用者の活動性を高めています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに ○ 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている ○ 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が ○ 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が ○ 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	この辺りの方言で「大丈夫」「何ともないよ」という意味の「あんどんねさ」をサービススローガンとして継続し、管理者・職員共に共有しています	地元の表現である「あんどんねさ」をホームのスローガンとして掲げ、利用者が日々安心して過ごせるように、職員一同スローガンを共有し日々取り組んでいます。特に利用者、家族に対して価値の高いサービス提供を全体で目指しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	中食で昼食をテイクアウトしたり、理髪店は地域のお店を利用しています。地域の幼稚園のクリスマス会では職員がサンタクロースに扮して参加したり交流があります	コロナ禍のため例年実施していた外出行事については自粛していますが、地域の幼稚園との交流の継続や地域の理髪店の利用などを通して地域との交流を継続しています。地域の飲食店のテイクアウトも効果的に活用しています。	地域の関係者等と築き上げてきた関係性が希薄化しないように、今できる関わり方を模索し良好な関係が今後も継続できることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	随時、介護相談を受けています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で事業所に招いての運営推進会議は開催を取りやめています。活動状況は報告しています	運営推進会議については今年度はコロナ禍の影響もあり、書面開催という形式で実施しています。2ヶ月毎市役所担当課や地域包括支援センター、家族へ事前に意見を確認してその後議事録を作成して送付しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	空き状況を報告して、市民への案内をしていただいています。コロナ禍で運営推進会議の開催を取りやめていますが、活動状況は2か月ごとに報告をしています	運営上相談事が生じた際には市の担当課へ連絡を入れて担当者に相談できる体制があります。今年度は新型コロナウイルス対策としてマスクやティッシュペーパーを無償で配布頂くなどの協力が得られています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	時間帯で玄関の施錠はしていますが、外出の制限はしていません。階段は転落防止の柵は設けていますが、施錠はしていません	身体拘束をしないケアの実践に向けて、2ヶ月毎身体拘束適正化委員会の実施のほか、毎月の職員会議でも不適切なケアの発生が無いかについて全体で確認しています。現状ホーム内では身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修や、途中入社の方の新人研修で虐待することによる弊害を学び防止に努めています		

グループホームガーデンコート東金(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人制度や権利擁護に関する制度をテーマに研修を行っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、お客様、ご家族の不安や質問にお答えし、ご納得後に、署名捺印を頂いています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部調査のご家族アンケートの時期が重なりお客様アンケートは実施していません。お客様の意見を参考に改善につなげています	家族からの意向や要望については運営推進会議前にレジュメを送付して確認するほか、電話連絡を中心に確認しています。利用者本人からの意向や要望については日常会話の中で確認し日々の生活に反映させています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員に働き心地アンケートを実施し、意見を聞いています。また申し送りや会議で発信する機会を設けています。改善につなげています	管理者が日常的に職員に日々声を掛け、悩みや不安、要望等を表出しやすい環境を築いています。また法人として職員に対して働きやすさについてアンケート調査を行い、働きやすい職場環境構築に向けて法人全体で取り組んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得制度を取り入れています。年2回の人事考課制度を導入しています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	オンデマンド講習を導入しました。ほめ達研修を半年に1回行っています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	君津木更津圏域 認知症多職種勉強会に参加しています		

グループホームガーデンコート東金(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前に、ご自宅や入院先にお邪魔させていただき、顔なじみになっていただけるように働きかけています。ご家族から生活歴などを伺い、話題にします		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	私たちができる事できない事をしっかりと伝えた上でお客様が望んでいる生活に近づけるようなプランを提案しています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護サービスの種類や利用料をお知らせし、入居型サービスの対象者など判断材料の提供も行っています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭菜園の管理や調理法などをお客様から教えていただき、一緒に保存食作りをしています。館内消毒を一緒に行っています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナウィルスの状況で面会を遠慮されるご家族も多いです。お客様の様子を月に1回手紙でお知らせしています。面会を希望されるご家族には感染対策をとった上で面会いただきました		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウィルスの感染防止の為面会を自粛される方が多いです。電話連絡をいただき様子をお知らせしたり年賀状が届き、返信のお手伝いをしたりしました。	馴染みの人や場所との関係が途切れないように、友人の来訪を受け入れたり、家族の協力を得て、馴染みの美容室に継続して通えるように支援するなど、コロナ禍でもできる関わり方を模索して対応しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	下膳や洗濯物を干す畳むなど得意なことをお客様同士で協力して頂いています。カラオケなど、共通の趣味の方との交流を支援しています		

グループホームガーデンコート東金(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院をしているお客様は病院、ご家族と連絡を取り合っています。今後の対応など、個別の相談に対応しています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話の中でご本人の希望や関心事をくみ取るように努めています。困難な場合、ご家族と相談したり、皆様と同じことを体験していただいたりして本人本位の支援に努めています	ケアプランの作成および更新時はアセスメントを実施して利用者の現状や課題等を抽出しています。アセスメントでは利用者の日常生活動作状況のほか、ホームで過ごす中での本人の希望なども確認しケアプランへ反映させています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談の際、生活歴などをお伺いしています。また職員間で共有しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録や申し送り、モニタリングの際に気がついたことがあれば、職員間で報告と現状の把握、情報共有に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の要望をふまえ、主治医や薬剤師と担当者会議等の場で話し合い、プランを作成しています	アセスメントで抽出した情報、利用者本人、家族、職員の意見を担当者会議で話し合い、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの進捗については毎月モニタリングで確認し、6ヶ月毎短期目標を更新しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録にプラン実践状況を記録し、介護記録や関わり方の見直しに反映しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自費のサービスの多機能化に対応化していますが手の届かない部分もあるかと思えます		

グループホームガーデンコート東金(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のスーパーへの買い物や幼稚園のクリスマス会のサンタクロース役で訪問したりしています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を継続しています。またかかりつけ医の紹介で専門医を受診することもあります	ホーム提携先の医療機関による往診を通して必要な医療を受けられる体制を築き、利用者の健康管理を行っています。提携先医療機関とは24時間のオンコール体制を築き、緊急時にも迅速に対応できる体制として必要な医療を受けられる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様の情報や気づきを主治医や薬剤師に相談させていただいています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	面会はもちろん、担当医や看護師に病状や治療方針、また期間、退院後に注意することなどを担当者介護を開催し伺うようにしています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期は、なるべくご要望を反映させますが、できる事と出来ないことを主治医を交え早期に話し合いをします。状況によっては、入院のご案内をしています	重度化した場合や終末期の対応についてはホームでできること、できないことを利用契約の際に重度化及び看取りの指針を交わし同意を得るようにしています。重度化によりホームでの生活が難しくなった際には、今後の方針を家族も交えて検討しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修で救急救命・応急処置の仕、AEDの使用方法を学び、緊急時役立てられる様にしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、防災訓練を行っています。また夜間を想定した避難訓練も行っています、社内研修では避難経路の確認、消火器の設置場所の確認をしています	避難訓練は年2回実施し、今年度8月に非常食をテーマにした訓練を、1月に夜間の火災想定訓練を実施しています。水害の状況についてもハザードマップにて危険度を確認しています。災害時を想定しての備蓄品もホーム内に整備しています。	今後に向けては、作成義務となった事業継続計画(BCP)についても段階的に準備を進め作成し、災害発生後における運営方針の明確化を期待します。

グループホームガーデンコート東金(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室を訪問する際は、必ず声かけをさせていただきます。排泄、入浴では最小の職員で対応できるように心がけています	利用者に対して不適切な対応にならないように、ホーム内でオンデマンド研修を通してプライバシー保護についての研修を行うほか、拠点会議を通して言動や行動等を振り返る機会を設け、不適切な対応につながらないように取り組んでいます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買い物や外出等で選択する場面を作っています。日々の献立は、お客様の要望を取り入れています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴回数や時間など、本人の希望を叶えるように支援しています。自由に過ごしていただき、外出支援もしています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の衣類をご自身で選んでいただいたり、季節にあった洋服を提案し着ていただいたりしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作りから、調理補助など一人一人ができる範囲を勘案し、手伝って貰います。また中食として、テイクアウトのお弁当などを取り寄せています	朝・昼・夕手作りの食事を提供し食事メニューも利用者の希望を取り入れて作成しています。できる会議り利用者にもかかわって頂き日々の食事準備を進めています。季節ごとの行事食や飲食店のデリバリーなども活用して食事の楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	皆様の要望を考慮しつつ栄養のバランスが保てるよう考慮しています。水分は1日1500ccを目標に飲み物を提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食の前にうがい、手洗いを、食後はうがいや歯磨きをしています。必要に応じて訪問歯科の受診や歯科医、歯科衛生士のアドバイスをいただいています		

グループホームガーデンコート東金(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	皆様、基本はトイレで排泄をしています。布パンツの方もいます	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残していません。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1日1500ccを目標に水分を取っていただき、適度な運動とストレッチ体操の支援をしています。排便スケールを用い、便の状態を観察し主治医にアドバイスを頂いています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	予定の曜日や時間はありますが、希望に沿った対応をしています。好みの入浴剤を使ったり、ゆず湯などで季節の演出をしています	利用者の体調を考慮し週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全な体制を整えています。また、各種入浴剤の使用やゆず湯や菖蒲湯などの季節風呂も取り入れ入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中活動的に過ごしていただくことや居室の温度や明るさにも気を配り、寝具や寝間着など安眠できる環境作りを行っています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、薬剤師の指導のもと、服薬介助をしています。体調に変化が見られたときは速やかに主治医、薬剤師に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	献立書きや洗濯物たたみなどお願いしたり、読書や塗り絵を楽しむ方もいます。感染対策として施設内の手すりなどの消毒をしていただいています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎週日曜日に、近隣のゴミ裕いを兼ねた散歩に出かけています。	例年当ホームは外出行事に力を入れており、県外の観光名所やいちご狩り、玉ねぎ狩り、蛍やあじさい見学七福神巡りなどに出かけています。今年度はコロナ禍の影響で外出行事は自粛しましたが、毎週日曜日には美化活動を兼ねてホーム周辺の散歩に出かけられるように支援しています。	

グループホームガーデンコート東金(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは施設管理ですが、お買い物の際は、ご自身で会計をしていただけるように支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙の制限は設けていません。、電話をかけたり、取り次いだり、年賀状、手紙の返信の支援をしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔に努め、季節ごとに装飾を変えるなど工夫をしています	ホーム内には利用者の作品や思考を凝らした作品を掲示し、季節に応じて装飾も変え季節感が感じられるよう工夫しています。日々の掃除も徹底しており衛生管理に努めるほか、消毒、換気もこまめに行い、感染予防対策も徹底しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや廊下にソファを、玄関には縁台を置き、自由に過ごしていただけるよう工夫をしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたものや思い出の品を持ち込んでいただき、ご自身の部屋を再現して戸惑いなく過ごしていただけるよう工夫しています	居室内には利用者の馴染みの物の持ち込みを可能とし、家具類の配置も利用者の要望に沿って対応し、居室内においても居心地良く生活できるよう配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	エレベーターの使用を控え、階段昇降をしていただいています。トイレの案内を廊下に示し、わかりやすくしています		